

▽ 地域貢献活動（平成25年4月～9月まで）

お取引先への支援等に関する事項

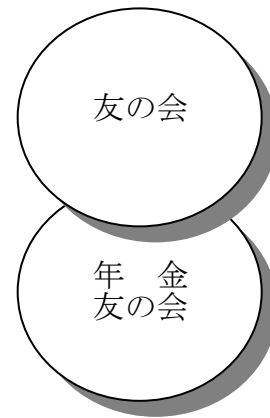
「地域でお預かりしたご預金は、地域の多くの皆様にご融資する」という姿勢を貫き、お客さまの立場に立った健全な資金提供を心がけております。また、北陸地区信用金庫協会主催のしんきんビジネスフェアに参加し、出展企業および個別商談会発注側企業のマッチングの橋渡し等も行っております。

個人のお客さま	7,551 百万円	事業者のお客さま	13,426 百万円	地方公共団体	1,279 百万円
住宅ローン	6,086 百万円	運転資金	8,874 百万円		
個人ローン	769 百万円	設備資金	4,551 百万円		
カードローン	210 百万円				
その他	486 百万円				

平成 25 年 9 月末

地域との繋がり（文化的・社会的貢献活動）

当金庫は、つねに地域のみなさまとの“ふれあい”を大切にしております



各店には、地域のみなさまとの「友の会」があり、いろいろなイベント、旅行などでお客様どうし、お客様と店舗との親睦を深めております。

各店には、年金受給者の方の親睦会「年金友の会」があり、毎年旅行など活発な活動がなされております。

☆ 便利でお得なサービス

氷見伏木しんきんのキャッシュカードなら、全国どこのATMでも、時間外・休日手数料が無料をご利用できます。

氷見伏木信用金庫 総務部

〒935-8601

富山県氷見市伊勢大町2丁目14番12号

TEL 0766-74-4101

FAX 0766-74-4513

<http://www.shinkin.co.jp/himifusi/>

HIMIFUSHIKI SHINKIN BANK REPORT

SEPT. 30, 2013



氷見海岸から望む唐島と立山連峰

自己資本比率（国内基準）

	平成25年9月末	<参考> (単位：%)	
		平成25年3月末	増減率(%)
自己資本比率	24.28	23.58	0.70
基本的項目比率	23.99	23.25	0.74
	(単位：百万円)		
基本的項目 (Tier I)	7,875	7,753	1.57
補完的項目 (Tier II)	92	112	△17.09
自己資本額	7,968	7,865	1.30
リスク・アセット等 (A)	32,817	33,346	△1.58
総所要自己資本額 (A) × 4%	1,312	1,333	△1.58

自己資本比率は、貸出金等の「リスク資産」に対する出資金や内部留保等の「自己資本」の割合で、金融機関の経営の健全性や安全性を示す重要な指標のひとつです。

氷見伏木信用金庫の自己資本比率は国内基準である4%を大幅に（6.07倍）上回っており、経営体質の健全性が維持されていることを示しております。

これからも、健全経営につとめるとともに収益力を高め、自己資本の充実を図ってまいります。

貸出金の内訳

平成25年9月末	
製造業	1,889
農業・林業	11
漁業	39
鉱業・採石業・砂利採取業	—
建設業	2,212
電気・ガス・熱供給・水道業	5
情報通信業	6
運輸業・郵便業	784
卸売業・小売業	1,888
金融業・保険業	805
不動産業	2,077
物品賃貸業	—
学術研究・専門・技術サービス業	29
宿泊業	617
飲食業	395
生活関連サービス業・娯楽業	610
教育・学習支援業	88
医療・福祉	1,323
その他のサービス	639
小計	13,426
地方公共団体	1,279
個人	7,551
合計	22,257

有価証券の時価情報

平成25年9月末				
	時価	評価差額	うち	
			益	損
その他有価証券	25,884	400	702	301
株式	120	39	39	—
債券	25,115	377	662	285
その他	648	△16	—	16

(注) 1. 平成25年9月末の「評価差額」は、平25年9月末時点の帳簿価額（償却原価法適用後、減損処理後。）と時価との差額を計上しております。
2. なお、満期保有目的の債券の含み損益は以下のとおりであります。

平成25年9月末				
	帳簿価額	含み損益	うち	
			益	損
満期保有目的の債券	3,113	△195	39	235

＜参考＞ (単位：百万円)	
平成25年3月末	平成24年9月末
1,973	2,148
15	19
39	39
—	—
2,382	2,403
6	7
5	5
787	773
1,902	1,999
806	753
2,055	2,085
—	0
33	36
674	689
434	463
651	650
99	104
1,139	1,063
614	565
13,623	13,811
1,456	1,581
7,834	8,022
22,914	23,415

＜参考＞ (単位：百万円)				
平成25年3月末				
	時価	評価差額	うち	
			益	損
	27,118	545	860	314
	115	34	34	—
	26,682	511	825	313
	320	0	1	1

＜参考＞ (単位：百万円)				
平成25年3月末				
	帳簿価額	含み損益	うち	
			益	損
	2,565	△149	43	192

預金・貸出金の状況

		＜参考＞ (単位：百万円)	
		平成25年9月末	平成25年3月末
		増減率 (%)	
預金	76,556	75,539	1.34%
貸出金	22,257	22,914	△2.86%

損益の状況

		＜参考＞ (単位：百万円)	
		平成25年9月末 (6ヶ月)	平成25年3月末 (12ヶ月)
		平成24年9月末 (6ヶ月)	平成25年3月末 (12ヶ月)
業務純益	101	△140	203
経常利益	167	△52	107
当期純利益	121	99	96
コア業務純益	96	70	161

金融再生法ベースの債務者区分による開示

		＜参考＞ (単位：百万円)	
		平成25年9月末	平成25年3月末
		増減率 (%)	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	781	890	△12.28%
危険債権	1,090	1,115	△2.22%
要管理債権	58	74	△22.37%
正常債権	20,527	21,067	△2.56%
合計	22,457	23,148	△2.98%
不良債権比率	8.59%	8.98%	

(注) 上記の平成25年9月末の計数は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則」第4条に規定する各債権の категорияにより分離しておりますが、集計方法については以下の点につき開示しております。

1. 平成25年9月末の「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」および「危険債権」の金額は、同年3月末時点における債務者区分(※)を前提とし、同年3月末から9月末までに倒産、不渡り等の客観的な事実ならびに債務者区分の引下げ等があった債務者について、当庫の定める自己査定基準に基づき債務者区分の見直しを行い、債務者区分の変更と認められる額を反映しております。

この場合、債務者区分が下方に変更になった場合を対象とし、債務者に対する債権額を新たに加算、または「危険債権」を減額し「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」を加算しております。

※債務者区分との関係

破産更生債権及びこれらに準ずる債権(実質破綻先、破綻先の債権)、危険債権(破綻懸念先)、要管理債権(要注意先のうち、元本の返済もしくは利息支払が3ヵ月以上延滞しているか、又は貸出条件を緩和している債権)

2. 平成25年9月末の「要管理債権」の金額は、同年3月末時点を前提とし、同年3月末から9月末の間に正常先、要注意先の債務者に対する債権のうち①新たに3ヵ月以上延滞となった債権や延滞が解消となった債権、②新たに貸出条件を緩和したことを確認している債権を加算または条件緩和が解消した債権を減額し、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」および「危険債権」に変更になった金額を減算しております。